

HIRAKATA CITY

**第 3 編**

重点プランとまちづくり指標





## 第3編 重点プランとまちづくり指標

### 第1章 重点プラン

#### 第1節 重点プランの設定

私たちがめざすまちの姿である「出会い・学びあい・支えあい、生きる喜びを創るまち、枚方」を実現するためには、市民・事業者・行政の協働を強めながら、本市の現状や時代の潮流を踏まえ、全市的・広域的な視点から施策を効率的・効果的に展開する必要があります。

特に近年の厳しい財政状況のなかでは、限られた財源を有効に活用する必要があり、重要度や緊急度が高い施策から、重点的に展開することが求められています。

そこで、「人を支え、育む」「人と自然が共生する」「まちの活力をつくる」という3つの機能整備につながる施策で、今後の10年間に先導的な役割を担い、かつ関係部門が横断的に連携することで、まちづくりにおける波及効果・相乗効果が発揮できる取り組みを、重点プランとして位置づけることとします。



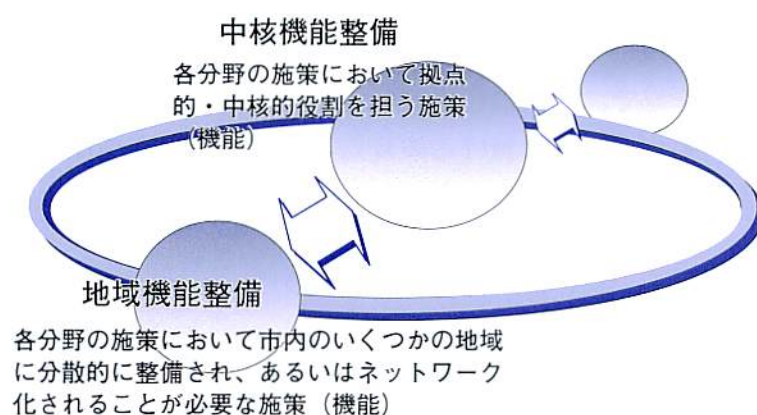
## 第2節 重点プランの基本的視点

## □ めりはりのある施策展開

めざまちの姿を実現するためには、6つの基本目標に基づく総合的な施策展開が必要ですが、この計画期間において、特に重点的な施策展開が必要なプランを示すことにより、めりはりのある施策展開を図ります。

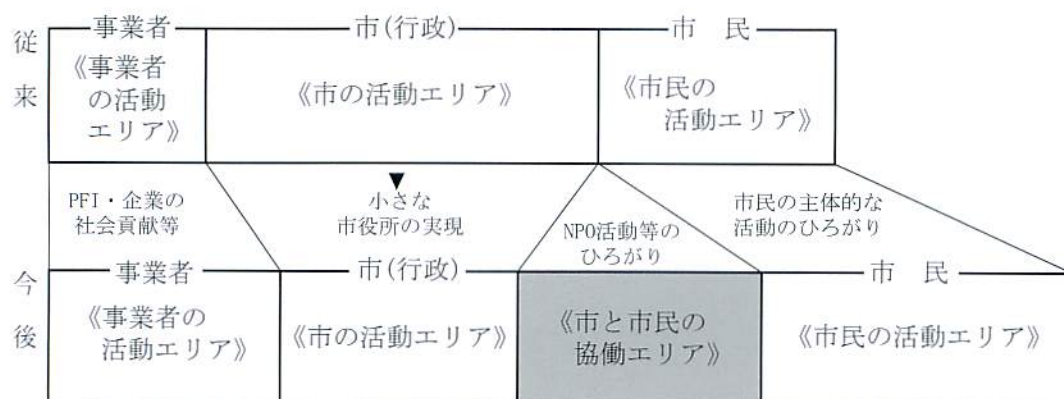
## □ 施策の総合的・一体的な推進

施策の効果や効率を高めるため、重点プランについては施策間の連携に留意し、総合的・一体的に展開します。また、それぞれの施策において、全市的な波及力を有する中核機能と、各地域に分散的に整備され、あるいはネットワーク化されることが必要な地域機能の間の連携を図りながら、整備を進めます。



## □ 市民・事業者と行政の協働促進

重点プランの展開にあたっては、NPOやボランティア・地域コミュニティ組織などの市民や事業者と行政の協働を促進します。



## □ 健全財政の確保

重点プランの展開にあたっては、本市の将来にわたる健全な財政状況の確保に留意することが極めて重要な前提であり、国や大阪府からの財源確保に努めるとともに、継続的で構造的な行財政改革と連携させながら、新たな財源を確保することが必要です。

そのために、市民に開かれた事務事業評価システムをはじめとする行政評価システムを確立し、評価を重視した行政マネジメントを強化します。

## 第3節 重点プラン

重点プランにおいては、「人を支え、育む」「人と自然が共生する」「まちの活力をつくる」という3つの機能整備につながる施策を重点的に展開することとします。

### 人を支え、育む 機能の整備

人と人との支え合い、助け合う愛と温もりに満ちたまちづくりを進めるため、医療体制や介護保険制度をはじめとする介護体制の整備、心やすらかに人を弔うことのできる基盤の整備、情報化社会に対応した生涯学習の拠点整備などに取り組みます。

### 人と自然が共生する 機能の整備

自然を大切にし、地球環境を守るまちづくりを進めるため、資源循環型社会形成に向けたごみ問題の解決、里山など東部の豊かな自然と淀川の水辺を結ぶ緑の回廊整備、環境関連事業の育成などに取り組みます。

### まちの活力をつくる 機能の整備

愛着と誇りがもてる、活力あるまちづくりを進めるため、枚方市駅周辺地域を魅力ある中心市街地として整備するとともに、市内移動を円滑にするための交通基盤を整備します。また、関西文化学術研究都市の建設を促進し、まちの魅力と活力を創造する「学園都市」の機能を整備するとともに、市内企業の情報化対応への支援、ベンチャー企業・コミュニティービジネスなど新たな産業の育成に取り組みます。

地域機能  
整備

- \* 市民の健康づくりや病診連携の強化など地域保険医療体制の整備促進
- \* 子育てや介護を支えあう地域社会の創出、新たな高齢者サービス事業の育成
- \* 地域における生涯学習基盤の整備、地域教育の高揚



地域機能  
整備

- \* 環境課題を重視するグリーン・コンシューマー（消費者）の育成
- \* 環境への配慮を重視する行政活動・事業活動の促進
- \* 環境課題解決のためルールを守り、身近な緑をつくるまちの形成
- \* 焼却ごみの半減化をめざした取り組みの推進

地域機能  
整備

- \* 東部地域の長尾駅・藤阪駅における交通結節点の機能整備促進。市内移動のための公共交通システムの充実
- \* 地域におけるまちづくりの活性化
- \* 市内大学が持つ情報・人材・施設などの機能を活用し、まちの魅力と活力を創造する「学園都市」機能の整備
- \* 広域幹線道路整備と連携した市内幹線道路の整備促進
- \* 市内企業の情報化対応の促進

## 第2章 まちづくり指標

第1編第4章で述べたように、市民・事業者・行政が協働して効果的にまちづくりを進めるためには、それが「何のために行われるのか」という実現すべき目標を設定し、その効果を測る基準を明確にすることが必要です。

また、可能な限り量的に評価可能な、具体的でわかりやすい指標を設定することが、市民・事業者のまちづくりへの主体的な参加を促し、それぞれの主体的な取り組みを一層効果的なものにすると期待されます。

ここでは、まちづくりにかかわる政策・施策についての重点的な指標とその考え方を例示します。指標の整備、現況・達成度の調査、具体的な目標数値の設定、政策評価・施策評価手法の確立等については、市民参加による検討組織等を設置し、速やかに具体化を図ることが必要です。

### □ まちづくり指標例

#### 基本目標1 人と自然が共生する環境保全のまち

項 目	概 要
1人あたりのごみ排出量/日	・1人あたり1日に出すごみの量。ごみの減量化状況を知る指標
1人あたりのエネルギー使用量	・1人あたりの電気・ガスなどのエネルギー使用量。省資源・省エネルギーの達成状況を知る指標
グリーン・コンシューマである市民の割合	・環境課題を意識し行動する市民の割合を知るための指標
1人当たりCO <sub>2</sub> 排出量	・地球温暖化防止のため、二酸化炭素の排出量の状況を知る指標
大気環境基準適合率	・大気質の悪化は市民の健康に影響を及ぼすため、その環境基準適合状況を知る指標
水質環境基準適合率	・水質（地下水を含む）の環境基準適合状況を知る指標
大気有害物質濃度	・大気質の悪化は市民の健康に影響を及ぼすため、その環境基準適合状況を知る指標
水質有害物質濃度	・水質（地下水を含む）の環境基準適合状況を知る指標
騒音環境基準適合率	・騒音の影響により、市民の生活環境が悪化していないかを知る指標
ダイオキシン濃度	・新たな環境公害として危惧されているダイオキシン類の環境基準の達成状況を知る指標
水道水に対する市民満足度	・市民が水道水を安全でおいしいと感じているかを知る指標

項 目	概 要
保全担保性の高い緑地面積	・緑地空間は環境保全効果とともに、市民生活に潤いをもたらす。保全担保性の高い緑地の面積を知る指標
緑被率、公園整備率	・樹林地、草地等の緑の空間がどれくらいあるか、公園がどれくらい整備されているかを知る指標

### 基本目標2 やすらぎのなか、世代をつないで住み続けるまち

項 目	概 要
新築住宅に係る1戸あたりの住宅敷地面積	・住宅の居住水準、ゆとりのある住宅空間の実現状況を知る指標
新築住宅に係る住宅1戸あたりの床面積	・住宅の居住水準を知る指標
* 建築協定締結数、* 地区計画数	・締結に至った建築協定や決定に至った地区計画の数。地域住民によるまち並みの保全等を図るための主体的な取り組み状況を知る指標
下水道普及率	・下水道整備による生活環境の改善の状況を知る指標
住んでいる地域が安全・安心であると感じている人の割合	・住んでいる地域が安全・安心であるということは快適な生活を送っていくうえで基本であり、その割合を示す指標
枚方で住み続けたいと感じる市民の割合	・住み続けたいと感じる市民の割合。将来の人口減少が予想されるなかで、定住魅力の高まりを知る指標
公共施設・道路・鉄道等のユニバーサルデザイン化の割合	・ハートビル法や大阪府福祉のまちづくり条例により認定された施設数。公共施設等を誰もが不自由なく使用できると感じる人がどれくらいいるかを知る指標
高齢者や障害者向けの公営住宅の戸数	・高齢者や障害者に配慮した公営住宅がどのくらいあるかを知る指標
農地面積減少率の推移	・農地がどのくらい保全されているかを知る指標
「農」に意欲的に取り組んでいる従事者数	・農地を守るには、多様な「農」の担い手が必要であることから、「農」に意欲的に取り組んでいる人材の数を知る指標
市内移動に関する市民の満足度	・交通渋滞、交通混雑に不満を持つ人の割合。総合的な交通対策による交通の円滑化の達成状況を知る指標



項 目	概 要
交通事故（人身）件数	・年間交通事故による死傷者数。交通事故防止の状況を知る指標
公共交通の利用者数・利用割合	・公共交通の利用状況。自動車公害の軽減に向け、自動車交通から公共交通への転換状況を知る指標

### 基本目標3 魅力にあふれ生き生きとしたまち

項 目	概 要
夜間人口に対する昼間人口の比率	・通勤や通学で他の市町村からどの程度人が流れ込んできているのか、他の市町村へ流れているのかを示す。集客交流の活発さを知る指標
小売流出入比率	・購買力の他市への流出度合い。商業の活性化状況を知る指標
枚方が魅力にあふれ、楽しいまちだと思っている人の割合	・枚方が魅力にあふれ、楽しいまちだという意識を持っている市民の割合。まちづくりの効果をj知る指標
産・学と行政の連携によるプロジェクト数	・産・学と行政の連携によるプロジェクト数。学園都市としての機能の発揮状況を知る指標
ベンチャー企業数	・専門技術を駆使して新事業を開発する創造的企業の数。新たな産業の発生を知る指標
新規創業数	・意欲のある起業家などが興した新たな事業数。産業振興の状況を知る指標

### 基本目標4 健康で心豊かな自立と共生のまち

項 目	概 要
人権が守られていると感じている人の割合	・人権が守られていると感じている人の割合。基本的人権の実現状況を知る指標
市内外国人の満足度	・外国人市民が暮らしやすいまちづくりとなっているかを知る指標
地域コミュニティの活動状況	・地域コミュニティ活動へ参加した人の数。支えあう地域社会の実現のために重要な役割を担う地域コミュニティの活力を知る指標
ボランティア・NPOの活動実績	・市民による主体的なまちづくりへの参加状況を知る指標
救急医療に対する患者（家族）の意識	・初期、二次、三次救急医療機関の機能分担に基づき、救急時に患者が混乱することなく適切かつ迅速に救急医療を受けることができる体制の整備状況を知る指標

項 目	概 要
老後も枚方で住みたいと思う人の割合	・本市における高齢者に対する施策体系の効果を 知る指標
生きがいを持ち、楽しく生きていると感じている高齢者の割合	・高齢者が就労や社会参加により、生きがいを感じているかを知る指標
枚方が住みやすいと感じている障害者の割合	・障害者の自立した生活や社会参加ができるようなまちづくりが行われているかを知る指標

### 基本目標5 ふれあい、学びあい、感動できるまち

項 目	概 要
枚方で子どもを育てたい・育てて良かったと思う人の割合	・枚方で安心して子どもを生み、育てたい、もしくは育てて良かったと思う人の割合。本市における子育て環境の状況を知る指標
小中学生の長期欠席率	・学校を年間30日以上欠席した長期欠席者数。不登校の状況を知る指標
将来に希望や夢を持っている青少年の割合	・地域に活力や活気が生まれるためには、青少年が将来に希望や夢を持てる社会であることが必要で、その状況を知る指標
地域での教育環境が良いと思っている人の割合	・地域における教育環境の状況を知る指標
図書館利用件数・満足度	・図書館が市民に対する情報提供機能をどの程度果たしているかを知る指標
生涯学習に取り組んでいる市民の割合	・市民の生涯学習活動状況を知る指標
スポーツ活動に参加したことのある人の割合	・スポーツ活動に対する参加度合い。活動環境がどれくらい整っているかを知る指標
市内で美術や音楽・舞台等の芸術作品を鑑賞したことのある人の割合	・本市における芸術文化環境がどの程度充実しているかを知る指標
枚方の歴史文化資源の認知度	・どれくらい枚方の歴史文化資源を知っているか。ふるさ意識の状況を知る指標
小中学生の基礎学力	・小中学生の基礎学力の習熟度を知る指標

## 基本目標6 みんなでつくる分権・市民参加のまち

項 目	概 要
市政に参加したいと思っている市民の割合	・市民と行政の協働意識を知る指標
ワークショップの開催件数	・市民と行政の協働作業の状況を知る指標
審議会等における市民公募委員の比率	・行政への市民の参加割合を知る指標
NPOやボランティア活動等の市民活動団体数	・自主的な市民活動を行う団体数。計画実現主体としての市民の力を知る指標
全国に発信できる新たな地域政策数	・独創的な地域政策の数。地域の政策形成能力を知る指標
人口千人あたりの職員数	・人口千人あたりの職員数。「小さくても仕事のできる市役所」の達成度合を知る指標
経常収支比率	・市の財政健全度を知る指標
市民1人あたりの地方債残高	・市民1人当たりの市債残高を表し、市の財政健全度を知る指標
審議会等における女性の構成比率	・市行政における意思決定過程への女性の参画割合を知る指標
管理職に占める女性の割合	・経営や政策の方針決定への女性の参画割合を知る指標

